

青梅市社会教育委員会議 8 月定例会会議録

令和 2 年 8 月 1 8 日
災 害 対 策 本 部
出席者 委員 1 0 名
(欠席者 委員 0 名)
事務局 3 名

1 開 会

【議 長】酷暑の夏が始まった。新型コロナウイルスの感染拡大も止まらない。青梅市も 2 0 名となっている。委員の皆さんもご自愛いただきたい。

【課 長】猛暑日が続いている。身体には気を付けていただきたい。マスクを着用しながらという大変な状況だが、今日もよろしくお願ひしたい。

2 報告事項

- (1) 令和 3 年度関東甲信越静社会教育研究大会（東京大会）実行委員会大会開催に向けた東京都への事務局訪問について

【事務局】本日午前中に青梅市・府中市・昭島市の事務局で東京都へ行ってきた。どのように協力できるか、事務レベルで話した。大会の挨拶は、東京都知事と呼ぶ場合は、通常、かなり大規模なものに限定されているとの話があった。教育委員会内で役職の高い方の挨拶をいただく方向になっている。東京都の共催・後援については、後援の場合はいろいろ制限があるため、共催協定になるかもしれない。基調講演について、東京大学の牧野先生・オリンピック記念青少年総合センター理事長の鈴木先生などを御紹介できるかもしれないという話をいただいた。事例発表については、ローテーションでお願いする場合、相手とのやり取りはかなり難しいという話を聞いた。テーマに全然沿っていないケースもあるという話だった。協賛については厳しい部分があるとのこと。また、新型コロナウイルスの関係で、規模を縮小して実施する等どういう開催方法にするか、代案を作っておいた方がいいのではないかという話をいただいた。プロモーションの映像等も、貸していただけそうである。

【議 長】開催することを前提に考えた方がいいとは思いますが、難しい。

【委 員】東北六県の大会は、秋田大会は中止、来年度は山形で行う。福島県の会は順延になる。ただ、どういう動向になるかはまだ不明。

【議 長】他も中止や先送りにしているところが多い。新潟大会もどうなるかわからない。東京からは来るなどと言われることも考えられる。

- (2) その他
～特になし～

3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会議 7 月定例会会議録（案）について

（協議資料 1）

【事務局】事務局から概要説明。

【委員】最終ページについて、「全国はどこも」という意図ではなく、「各都道府県を統括する『日本体育協会』は」という意図だった。「東京都の方が『体育』にこだわっているが、各都道府県を統括する『日本体育協会』はかなり前から『日本スポーツ協会』になっており、また、全国的にも『スポーツ』に変わりつつある。」に修正していただきたい。

【議長】その部分を修正し、案を消すこととする。

～了承～

(2) 第 5 1 回 関東甲信越静社会教育研究大会（第 6 2 回 全国社会教育研究大会）新潟大会の開催について

（協議資料 2）

ア 日 時 令和 2 年 1 1 月 1 2 日（木）～ 1 3 日（金）

イ 場 所 シティホールプラザ「アオーレ長岡」（新潟県長岡市）

ウ 参加者

	宮野	金子	藤原	神山	市川	栗原	吉野	山川	横手	園田
11/12	○	○	×	○	○	○	○	×	保留	○
11/13	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×
情報 交換会	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×

【事務局】9 月 7 日に新潟大会実行委員会で開催の決定判断をする予定とのこと。交通費は新幹線代の予算がある。宿泊費は実費になる。現状の出欠を確認したい。申し込みは 9 月 3 0 日までとなっている。次回の定例会において、改めて分科会の希望も聞くことになるので、考えておいていただきたい。

【議長】宿泊に関しては、宿泊案の中からどれかが当たるということでいいのか。

【事務局】その予定だが、金額面でさらに安いところがあれば、そちらも当たることになると思う。

【議長】とにかく開催決定が決まってからの判断となる。開催されるのであれば、参加できる方は参加していただきたい。

(3) 令和 2 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会の開催について

（協議資料 3）

【事務局】事務局から概要説明。会長市の判断に沿いたい、中止はやむを得ないという話が出ている。ブロック研修会については、ブロックごとの判断でいいのではないかと、という意見が多い。皆さんの意見で青梅市の方針を決定したい。地区別社会教育研究大会等もほぼ延期・中止となっている。1 0 月に予定されていた青少年委員の各ブロック研修会も、来年に順延が決定となった。

【議長】ブロック研修会は、各ブロックと事務局で判断するのがいい。全体の交流大会は、自分は躊躇してしまう。青梅市で人との間隔を制限すると、各市1～2人しか来られない。それで実施する意味があるのか、と感じている。懇親会は当然難しい。府中市から「都内だからいいのではないか」という話もあるが、小金井市の意見が基本的に押さえておくところではないかと思う。順延ではなく、来年度は府中市にお願いする方向で行きたい。順延となると、次の市の事務局も大変になってしまう。

【委員】ソーシャルディスタンスを確保して人数を制限して来ていただくのは、趣旨と違ってきてしまうのではないか。代表者だけ来てもらうのは、趣旨と違うし勿体ない。ただ、中止ではなく、来年度に持ち越しということでもいいのではないか。教育研究大会を見ると来年に再来年に延期するのが地区ごとに見受けられる。延期をここで決めていいのか、やはり各市の意見を聞く必要があるのではないか。

【議長】青梅市の考えとして、皆さんの意見を聞きたい。全体としては幹事会や理事会で決定することとなる。臨時会を開くようになる。

【事務局】10月に拡大役員会がある。メールなどで早く決めないといけない。

【議長】例年どおりの手順ではなく、臨時会を開いてまとめなければならない。

【事務局】会長・副会長市で協議し、拡大役員会等の臨時会を9月に開催可能か、検討してみる。研修会の部分については、定期総会の講演会で発表するというやり方もある。

【委員】交流大会は一堂に会してという意義を考えると、人数制限の関係で従来どおりに実施するのは難しい。オンラインでの開催を行う考えもあるが、難しい面もあると思う。青梅市としては中止という判断も仕方ない。

【議長】各市町でそれぞれ各市町に集まってもらってオンラインで参加してもらう、というのは可能なのか。

【事務局】今年度に限ってはwebexを使える。

【議長】構成市町がみんな入っているのか。

【事務局】東京都が配布しているという話である。得意不得意という面で、自宅でできるかどうかは疑問。

【委員】大きい画面で、市ごとに集まり利用することは可能か。

【事務局】集まるということは、各市の状況による。

【委員】システムは東京都が各市町村に流してはいるが、どのくらい活用しているかは不明ということ。仮にリモート会議をするとき、そのシステム使うのか、アクセス環境が各市町村で同じようにできるのか。個人の参加なら+αで考えておけばよい。学会でもリモートで行う場合もあるが、事務局の労力が大変である。費用が発生したときに誰が補償するのかという問題もある。理論的には可能だと思うが、今回の交流大会についてではなく、今後の検討課題としていくのがいいと思う。交流大会については、リスクを考慮して中止とし、会長市の輪番を崩すわけにはいかないと思うので、次市に回す方がいい。来年度、

事務局の職員も変わる可能性もあり、また、予算の問題もある。事務方の労力もかなり厳しい。総会に関しては、また書面決裁という手段もある。ブロック研修会に関しては、地域地域で判断していくといいと思う。ブロック研修会であれば、情報交換をするなり、ZOOMを使った研修会などもいいのではないか。

【議長】交流大会は、延期ではなく、中止でいいと思う。青梅市としては、令和2年の交流大会・研修会は物理的にも人命的にも中止としたいがいいか。

～異議なし～

【議長】青梅市としては中止としたい。役員会・拡大役員会で図ってもらいたい。定期総会の件については、次回以降に議論をしていきたい。

(4) その他

～特になし～

4 その他

【事務局】『令和2年度青梅市芸術文化奨励賞表彰候補者の推薦について』の依頼文をお配りした。推薦者がいれば、推薦してほしい。『青梅市子ども読書活動推進事業報告書 平成30年度』についても、目を通していただきたい。

【議長】推薦者がいたら推薦してほしい。職業として画家の人などは、対象になるのか。

【事務局】職業として芸術文化活動に携わる方は該当しない。

【議長】交流大会については、例年どおりの会議日程の場合、対応の時期として無理があると思うので、早めに対応してほしい。

次回定例会 9月15日（火）午後7時～